

患者さまが受けられた医療に関するご遺族の方へのアンケート調査 ご協力をお願い

謹啓

ご多忙のところ、またご心痛の中、突然のお手紙を差し上げますこと、心よりお詫び申し上げます。

このたび、厚生労働省委託事業として、亡くなられた患者さまのご遺族の方を対象とするアンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。この調査は、一定の基準に基づいてご遺族の方々にお願いをしております。

わが国では、人生の最期の大切な時間における医療の改善が求められていますが、その実態や課題を明らかにするためには、ご遺族の方々の意見が不可欠となっています。

この調査は、ご遺族の意見を広くお伺いする全国調査として、患者さまがお亡くなりになる前に利用された医療や生活の状況、ご遺族の方が介護を通して感じられたことをお伺いし、大切な方を支えられたご経験を、今後の医療やケアの向上に活かすために、ご意見をお伺いしたく存じます。

- 別紙に調査の趣旨や内容について詳しい説明がございますので、ご一読ください。
- 調査にご協力いただける場合は、アンケート用紙に回答の上、同封の返信用封筒でご返送ください（切手は不要です）。
- ご返送は、このお手紙がお手元に届いてからおおよそ 2 週間以内に郵便ポストへご投函いただけますと幸いです。アンケート用紙・返信用封筒に住所・氏名の記入は不要です。
- 調査はあなたの自由意思に基づいて行われるものですので、回答しない場合も不利益になることは一切ありません。

このようなお願いが、皆さまのお気持ちに触れることがございましたら、心よりお詫び申し上げます。皆様からいただいた率直なご意見は、たとえ病気を患ったとしてもその方のご意向に沿った生活を支えていく医療の実現のために活かしてまいります。何卒ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

末筆ながら、時節柄、どうかご自愛くださいますよう、お祈り申し上げます。

謹白

令和 8 年 1 月
国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所長 松岡 豊



この調査は厚生労働省の委託費にて行われています